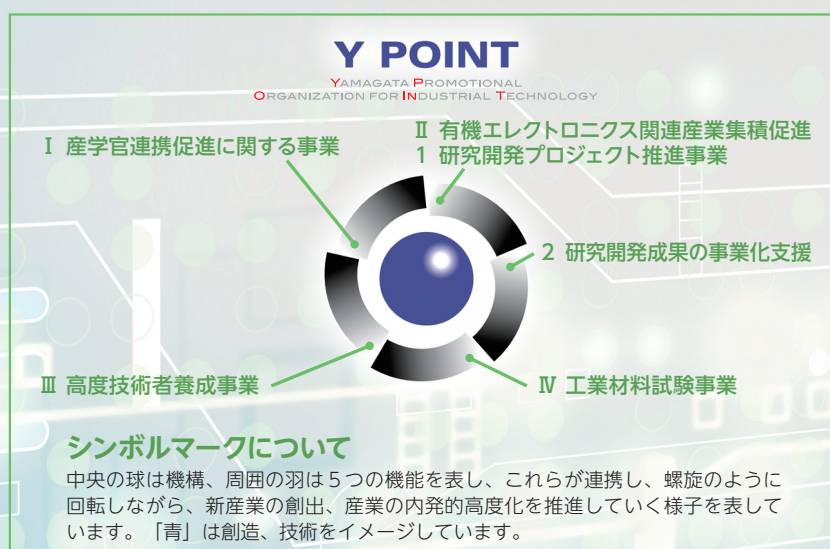


「山形県の産業技術発展と新産業創出を目指して」

公益財団法人 山形県産業技術振興機構

YAMAGATA PROMOTIONAL ORGANIZATION FOR INDUSTRIAL TECHNOLOGY





Y POINTが目指すもの

～山形県産業の持続的発展、産業技術の振興～

少子高齢化による国内人口減少・生産年齢人口の減少、社会経済のグローバル化の進展、環境エネルギー問題やAI、IoT、ロボット等DX化への対応、働き方改革など、地域経済を取り巻く環境は大きく変化しています。

山形県において足腰の強い産業基盤を確立し、地域経済を持続的に発展させていくためには、その中核をなす県内中小企業の振興を図ることが何よりも重要であり、山形大学の有機エレクトロニクス分野や慶應先端研のバイオテクノロジー分野での世界最先端の研究成果をはじめとして、大学や公設試験研究機関等が有する科学的知見や技術と県内企業とのマッチングを進め、事業化・産業化に結びつけるとともに、ものづくり産業を担う高度技術等の人材育成が重要となっています。

このため山形県産業技術振興機構では、技術支援の専門機関として、県内企業の市場競争力の強化を目指し、産学官連携促進に関する事業、有機エレクトロニクス関連産業集積促進（研究開発プロジェクト推進事業、研究開発成果の事業化支援）、高度技術者養成事業、工業材料試験事業など5つの機能を柱に、本県産業技術の振興に取り組んでいます。



Y POINTの事業概要 (5つの機能)

I 産学官連携促進に関する事業



産学官連携の促進とコーディネート機能の強化により、多様な研究開発プロジェクトの創出やDXの推進を図ります。

II 有機エレクトロニクス関連産業集積促進

1 研究開発プロジェクト推進事業



有機エレクトロニクスに関して、地域企業への情報・技術移転を促進します。

III 高度技術者養成事業



次代を担う高度技術者の養成により県内企業の技術高度化を図ります。

2 研究開発成果の事業化支援



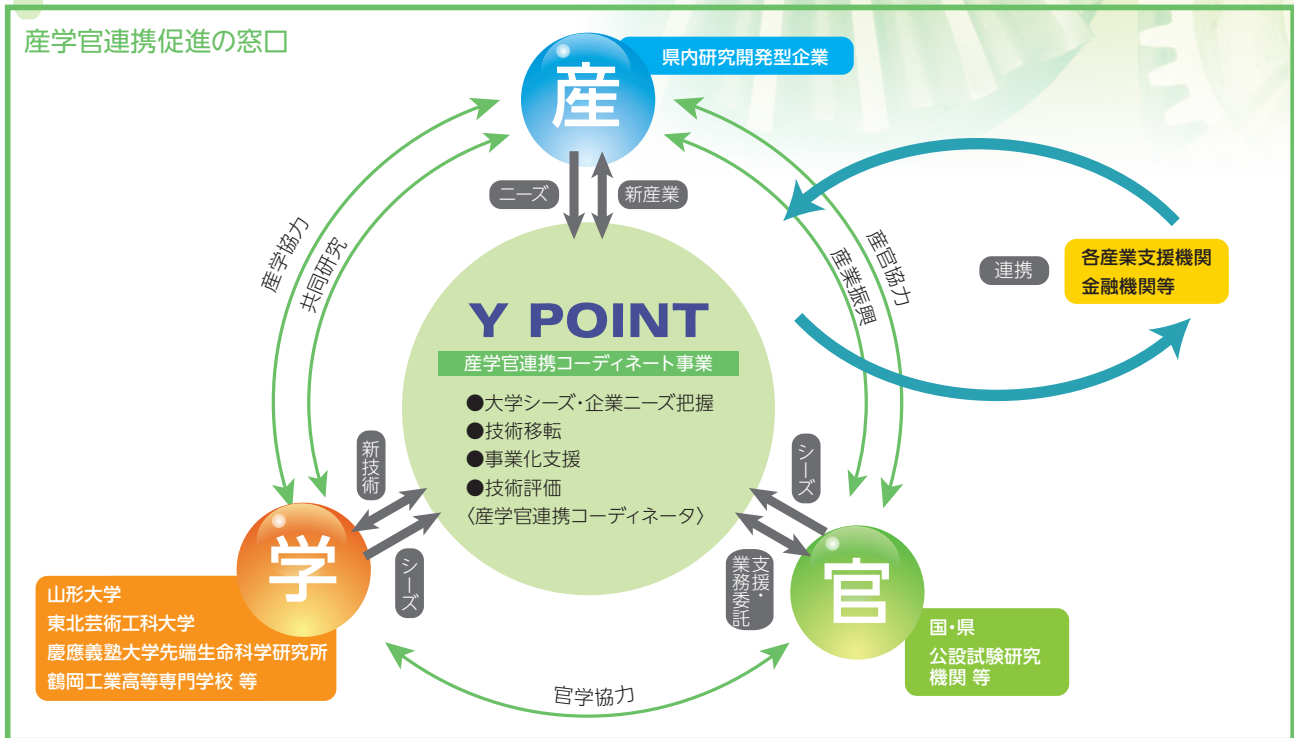
次世代照明の有機EL照明の実用化・商業化に向けて、県内企業を支援します。

IV 工業材料試験事業



企業の生産活動で使われる工業材料や、生産された製品の耐久性や性能等を評価・分析し、企業の技術力向上を支援します。

I 産学官連携促進に関する事業



1 産学官連携コーディネータによる企業支援

産学官連携による研究開発等の成果を地域企業へ波及させるために、産学官連携コーディネータを配置し、企業への支援を行うとともに、県内産学官連携の中核を担う機関として企業と大学、行政機関との橋渡し役を務めています。具体的には、企業が研究開発を行うにあたって、補助金など助成制度の紹介、大学や試験研究機関の研究者の仲介や関連企業とのマッチング、その他プロジェクト推進に関するサポートを実施しています。

成長期待分野担当※



江口 幸也



深瀬 敏

バイオ分野担当



夷藤 伯慎

医療分野担当



小関 洋司

IoT 分野担当



渡辺 敏明

DX 分野担当



早坂 藤晴

※成長期待分野：「自動車関連産業」「航空機関連産業」「ロボット関連産業」「環境・エネルギー関連産業」「食品・農業関連産業」「医療・福祉・健康関連産業」(出典 「山形県産業振興ビジョン」令和2年3月山形県策定)

2 DX推進事業

生産現場のデジタル化に精通した専門家を派遣するほか、専門家によるDXのレベル診断、及び助言並びにDX実現のための実行計画の策定を支援します。

3 やまがた産業技術振興基金事業

県内中小企業等が実施する新たな技術等の開発や地域の資源等を活用した新製品開発など、新規市場の創出や新事業展開のための研究開発、試作等に取り組む事業に対する助成を行っています。

4 管理法人機能

国等の外部資金等（経済産業省のGo-Tech事業（旧サポイン事業）等）を活用した産学官連携による共同研究開発プロジェクトの調整や事務局など管理法人機能を担っています。

5 中小企業外国出願支援事業

外国での特許、実用新案、意匠又は商標の出願を予定している中小企業等に対し、外国出願に要する費用を補助します。

6 次世代経営者セミナー

ものづくり企業の経営者層を対象に、機構の支援事業の普及啓発とともに、技術や経営に関する最新動向を学ぶ場を設け、ビジネスチャンスの拡大や産学官連携の一層の活性化を目指すセミナーを行います。

Ⅱ 有機エレクトロニクス関連産業集積促進

1 研究開発プロジェクト推進事業 (有機エレクトロニクス事業化実証施設運営事業)

照明用有機ELパネルの開発・製造、有機ELディスプレイ製造部材の開発・製造等に係る実証事業を推進するため、「有機エレクトロニクス事業化実証施設(米沢市八幡原)」を管理・運営し、関係企業の実証事業の場を提供することにより、県内における有機エレクトロニクス関連産業の集積促進を支援しています。

2 研究開発成果の事業化支援 (有機エレクトロニクス事業化推進事業)

(1) コーディネータの配置による企業へのサポート

- コーディネータを配置し、有機ELのパネルや照明製品の開発に取り組む県内企業へのサポートを行うとともに、有機ELディスプレイ分野に参入する企業と県内企業との連携に向けたコーディネート活動を行っています。
- 有機EL関連分野で事業化を目指す県内企業を中心とした約120企業・団体が参加する研究会「OLED(オーレド)ヤマガタ」を組織・運営して、研修会の開催、サンプルパネルの貸出などの活動を行い、県内企業の技術力・開発力の向上をサポートしています。

担当コーディネータ



齋藤 学



吉田 健

(2) 有機エレクトロニクス総合支援

県内企業が山形大学と有機エレクトロニクス産業分野における共同研究を行う場合、又は有機EL照明製品をはじめ有機エレクトロニクス関連製品の量産化や試作開発を行う場合に、補助金を交付して支援しています。

(3) 首都圏営業拠点の運営

東京都西新宿の新宿パークタワー内「リビングデザインセンター OZONE」内でショールーム「Organic LED YAMAGATA」を設置・運営し、有機EL照明製品や有機エレクトロニクスに関する説明パネルの常設展示を行いながら、首都圏における新たな市場開拓のための情報受発信を行っています。



Ⅲ 高度技術者養成事業

ものづくりに直結した高度なスキルの習得に加え、自律的なマインドの醸成や対人関係力・課題解決力の強化を通じて、変化の時代に即応した“自律型ものづくり人材”を育成します(研修の階層別スキームは裏面の『研修体系』を参照)。

1 階層別研修

経営者、現場リーダー、初任者の3つの階層を対象に、それぞれ、マネジメント人材育成、現場リーダー資質向上、初任者育成の研修を実施します。

マネジメント人材育成では、生産性向上に向けてマネジメントに係る各種知識・各種手法の習得、現場リーダー資質向上では、生産改善の方法・人の扱い方などの習得、初任者研修では、ものづくりの基本・レジリエンスの強化・コミュニケーションスキルなどの習得を目指します。

2 課題別研修

企業が抱えている経営課題やものづくりの変革の方向に対応し、女性活躍の推進、製品開発に向けた発想力強化、ロボットを活用できる人材の育成など、その時々課題に応じた研修を実施します。

3 職能別研修

生産管理、生産技術、品質管理、製造といった企業の職能(部門)に応じた研修を実施します。ものづくりの管理力を高める研修や、加工技術に関する研修、分析・評価技術などの研修を通して高度技術者(研究開発のリーダーや共同研究などの推進役)の養成を目指します。



『研修体系』

令和5年度の例

階層		経営者・管理者層	現場リーダー・中堅	一般・初任者	
種別					
階層別研修		マネジメント人材育成	現場リーダースキルアップ(一般対象)	ものづくり人材初級	
課題別 研修	女性活躍		現場リーダースキルアップ(女性対象)		
	発想力		発想力・思考力強化		
	ロボット		ロボット技術者育成(ロボットハンドコース) ロボット技術者育成(ロボットビジョンコース)		
職能別 研修	生産管理		生産管理 在庫管理		
		生産技術		TWI 生産改善	
	品質管理			品質管理	
	製造			切削・研削加工技術	
				製品設計・製造に役立つ金属材料学	
				異物解析技術入門	
				プラスチック材料の射出成形と物性評価	
				清酒製造技術	
				食品の安全管理技術	
				ノイズ対策に関わる技術者のためのEMCの基礎と実践技術	
			落下衝撃試験・振動試験の基礎(置賜)		
		不良解析技術(庄内)			

※研修の内容や具体的なスケジュールについては、HP (<http://www.ypoint.jp/>) をご確認ください。

IV 工業材料試験事業

企業の生産活動で利用される工業材料や生産された製品の耐久性や性能を評価し、企業の技術力向上を支援します。

■山形県工業技術センター本所 山形市松栄二丁目2-1 TEL 023-644-3222

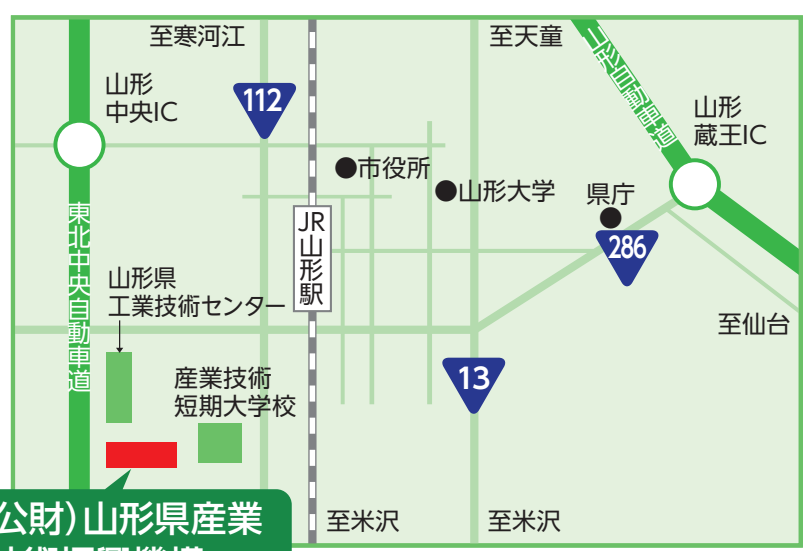
試験項目		試験内容
強度試験	工業材料	一般材料試験(強度、伸び、曲げ、特殊な環境・試料採取を要するもの)、硬さ試験(硬さ分布も含)、衝撃試験(常温、常温以外)
	土木建設材料	圧縮試験・曲げ試験(コンクリート類)、建設用鋼材試験(強度、伸び、曲げ等)
	土木建設製品	圧縮試験(コア供試体)、大型製品試験(コンクリート二次製品等)
化学分析		定量分析(重量法、容量法等)
機器分析		蛍光エックス線定性分析(固体、液体、粉末)、蛍光エックス線定量分析、ICP発光分光定性分析、ICP発光分光定量分析、炭素・硫黄同時分析

■同センター 庄内試験場 東田川郡三川町大字押切新田字桜木25 TEL 0235-66-4227

試験項目		試験内容
強度試験	工業材料	一般材料試験(強度、伸び、曲げ、特殊な環境・試料採取を要するもの)、硬さ試験(硬さ分布も含)、衝撃試験(常温、常温以外)
	土木建設材料	建設用鋼材試験(強度、伸び、曲げ等)
	工業製品(木材)	側方荷重試験、鉛直荷重試験、繰り返し試験

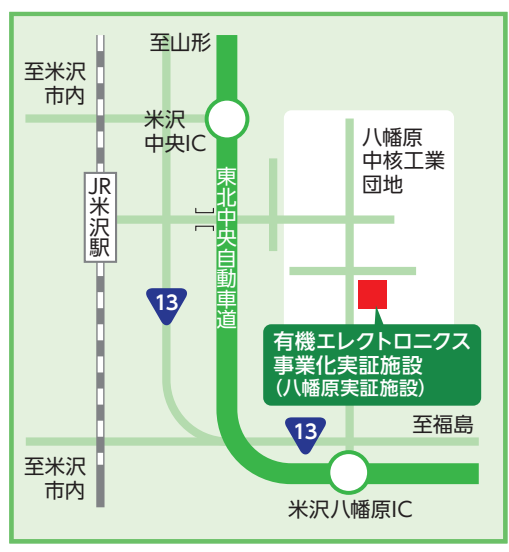


山形県産業技術振興機構までのアクセス



(公財) 山形県産業技術振興機構

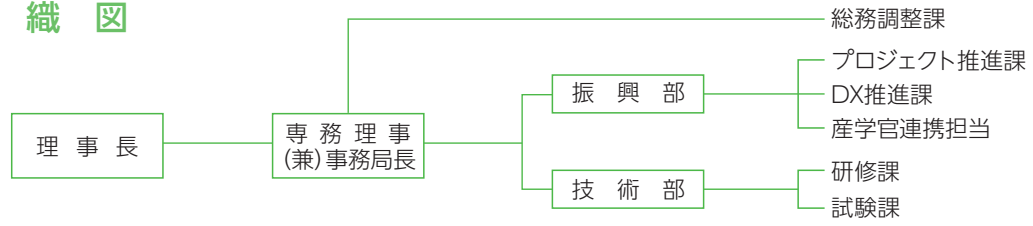
□山形駅からタクシーで17分 □山形中央ICから車で16分



沿革

- ・2004年(平成16年)4月1日、財団法人山形県工業材料試験センターを母体として、社団法人山形県工業技術研修所を統合し、財団法人山形県企業振興公社の研究開発部門を移管し、財団法人山形県産業技術振興機構を設立。
- ・2013年(平成25年)4月1日、公益財団法人に移行。

組織図



各事業に関するお問い合わせ先

- 総務調整課(023-647-3130)
 - ・当機構の総務、経理、運営に関すること
- プロジェクト推進課(023-647-3163)
 - ・研究開発に関連した助成金等の企業支援
 - ・有機エレクトロニクス分野への参入、製品化用途開発
 - ・有機EL関連補助金
- DX推進課(023-647-3163)
 - ・DXの推進に関すること
 - ・ロボット技術者育成研修に関すること
- 産学官連携担当(023-647-3163)
 - ・産学官連携コーディネータによる企業支援
- 研修課(023-647-3154)
 - ・各研修事業に関すること
- 試験課(山形県工業技術センター 023-644-3222)
 - ・強度試験や物性試験・工業材料の化学分析、機器分析

当機構では、各種研修や助成事業など、タイムリーな情報提供を図るため、電子メールでの情報配信を行っています。ご希望の方は、E-mail: info@ypoint.jp までご連絡ください。



公益財団法人 山形県産業技術振興機構

〒990-2473
 山形市松栄二丁目2-1山形県高度技術研究開発センター内
 TEL:023-647-3130(代表) FAX:023-647-3139
 URL <http://www.ypoint.jp/> E-mail info@ypoint.jp



Y POINT